

＊ ＊ 日時と場所を変更しました。ご注意ください。 ＊ ＊

＊ ＊ Please note that the schedule and the lecture room have been changed. ＊ ＊



失語の症候学と神経基盤

講師：大槻 美佳 氏（北海道大学大学院保健科学研究所 准教授）

Lecturer: Dr. Mika Otsuki
(Associate Professor,
Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University)

日時：平成 25 年 12 月 12 日（木）18:30～

Date: December 12th (THU) from 18:30.

場所：医学教育図書棟 4 階 第 3 講義室

Place: Lecture Room 3, Medical Education & Library Building 4F.

ABSRTACT

失語症の診断は画像診断の進歩で大きく変化した。ひとつには、症状発現と病巣部位の検討がリアルタイムで可能になり、失語症の要素的症状と神経基盤の対応が明らかになったこと、そして、fMRI 等の機能画像の検討で、言語に関する要素的な機能と神経基盤の対応が裏打ちされたことである。これらの進歩は、言語機能に関する脳の局在地図を明らかにしただけではなく、さらに詳細な症候学的検討により、脳内のネットワーク構造をも示唆する知見を提供している。今回、これらの新しい知見を紹介しながら、失語症にアプローチする視点を概説する。

担当：神経精神医学 池田 学 教授

Inviter: Prof. Manabu Ikeda (Department of Neuropsychiatry)

e-mail:mikeda@kumamoto-u.ac.jp

医学教務：iyg-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

